

LIBRARY

No.9 平成 26 年 2 月 19 日
津田沼高等学校図書委員会

お待たせしました。図書館の広報です。今回はディズニー映画などの原作となった本のいくつかを紹介したいと思います。

☆グリム童話／兄ヤーコップ・ルードヴィヒ・グリム 弟ウィルヘルム・カール・グリム

【白雪姫】 1937 年にディズニー長編アニメーション映画として公開された白雪姫を皆さんご存知でしょうか？今なお愛され続けるこのアニメーションはグリム童話の中でも最も有名なものの一つです。そのため色々に語り継がれているのですが、そのどれもが映画とは異なっているところがいくつか見受けられます。例えばお妃様が「世界で一番美しいのはだあれ？」と問いかける場面がありますが、あるところでは白雪姫が可愛がっている犬のスピーゲル（鏡）に美しい女は誰なのかと問いかけた語り継がれているそうです。他にも映画とは異なっているところがあるので、是非手に取って見比べてみてください。



【シンデレラ】 東京ディズニーランドにあるシンデレラ城の中にはガラスの靴が展示されているのをご存知ですか？皆さんもシンデレラといえばガラスの靴というイメージが強いと思います。しかし原作ではガラスの靴ではなく黄金の靴なんです！また、ディズニー映画では続編でいじわるなお姉さん達と仲直りしているのですが、原作ではシンデレラの結婚式で小鳥に両目をつつかれてその後一生目が見えずに暮らすという残酷な結末になっているんですよ。



【眠れる森の美女】 今年の 7 月 5 日にアンジェリーナ・ジョリー主演で、13 人目の魔女



「マレフィセント」視点で実写映画化されるこの作品ですが、この 13 人目の魔女、原作では皿が足りないがために姫の誕生を祝う集まりによられなかったのです。そのせいで 100 年の眠りにつかされるくらいなら 1 枚くらい皿を買ってきてしまえば良かったのに…。アニメーションで出てくるドラゴンも原作では出てこないんですよ。また、姫の目が覚めたのは 100 年経ったからで、王子様のキスは必要なかったんです。ロマンチックな発想もディズニーならではのですね。

出典 『完訳グリム童話集 1・2』『グリム童話選』 岩波書店

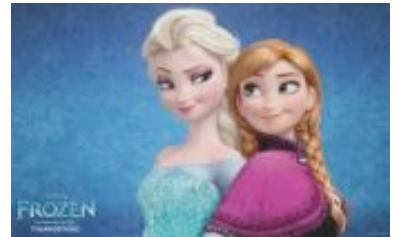
☆アンデルセン童話／ハンス・クリスチャン・アンデルセン

【リトル・マーメイド】 アンデルセンの童話のひとつ『人魚姫』は多くの人が絵本などで読ん



だことがあるのではないのでしょうか。ディズニーの映画では王子と結ばれるハッピーエンドで、続編では主人公アリエルにメロディという娘が生まれ幸せに暮らしていますが、原作では悲しい終わり方になっています。また映画でアリエルは16歳でエリック王子に恋をしますが、原作では15歳となっています。他にも大きく異なる部分があるので、この機会に読んでみてはいかがでしょうか。

【アナと雪の女王】 今年の3月14日に3Dコンピュータアニメーションとして公開されます。原作は『雪の女王』となっていますが、その内容は大きく異なったものとなっています。これから公開される映画を見る前に原作を読んで、その違いを確かめてみてはいかがでしょうか。



出典 『完訳アンデルセン童話集 1・2』『アンデルセン童話選』 岩波書店

☆その他の童話

【クマのプーさん】 ディズニーのアニメーション作品



などで多くの人々に知られ、親しまれているクマのプーさん。原作の童話ではぬいぐるみのプーと森の仲間達との日常が描かれています。ディズニーのプーさんは赤いTシャツを着ていますが、原作の挿絵では何も着ていないんです。E・H・シェパードによる素朴でかわいらしい挿絵も原作の本の魅力の一つなので、是非一度読んでみてください。



出典 『クマのプーさん』／A・A・ミルン 岩波書店

【ふしぎの国のアリス】 幼い少女アリスが時計を持ったウサギを追いかけたことで始まる不思議な旅の物語です。映画ではその魅力的な世界観や個性的なキャラクター達が、色鮮やかな色彩と音楽で表現されています。また、関連するグッズなどは数多くのディズニー作品の中でも人気を誇っています。ディズニーランドにはアトラクションやレストランがあるんですよ。そのどちらもアリスの世界観を体感することができるので足を運んでみるのも良いと思います。



出典 『不思議の国のアリス』／ルイス・キャロル 朝日出版社

この他にもディズニー作品は数多くあり紹介しきれません。上に挙げた本はどれも図書館に置いてあるので、ディズニーが好きな方、そうでない方も是非借りに来てください。